

# 長野県の医療・介護のこれからを考える 県民集会



## これでいいのか！ 病床削減計画



日時 2016年**10月30日**(日)  
午後1時～4時頃

会場 岡谷市文化会館 小ホール  
(カノラホール)

入場無料  
どなたでも  
参加できます

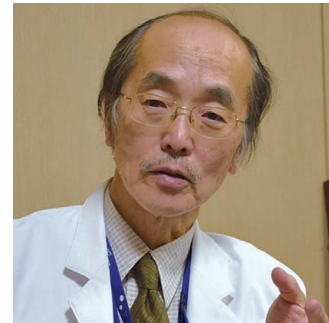
### 1 メイン講演

#### 「諏訪地域における 病院長連絡会の とりくみを通じて」

諏訪赤十字病院院長

### 大和真史 氏

昭和54年 信州大学医学部卒  
平成25年 現職、循環器内科医



### 2 各分野からの報告 (進行役) 健和会飯田中央診療所:熊谷嘉隆氏

- 住民の立場から 井口 利夫氏 (木曾病院・木曾地域の医療を守る会 会長)
- 療養病棟をもつ病院から 小林 由美子氏 (佐久総合病院小海分院統括看護部長)
- 開業医の立場から 原 政博氏 (阿南町・新野へき地診療所 所長)
- 訪問看護師の立場から 丸橋 留美子氏 (上田生協訪問看護ステーション 所長)

### 3 フロアからの自由発言

〈会場案内〉 ●なるべく電車を利用して下さい。JR岡谷駅から徒歩15分、タクシー5分  
●車の場合:長野自動車道岡谷インターから8分



主催:長野県医療団体連絡会(県医労連・保険医協会・県民医連・県難病連)

連絡先:長野県社会保険推進協議会 Tel.026(223)1281

# 遠のく“医療”と“介護”

政府が描く近未来の姿

## これで本当によいのでしょうか？

### “いのち”にかかわる病床削減計画

#### 最大で20万床のベッド削減

国は、都道府県に医療費削減を押し付け、患者を追い出そうとしています。  
高齢化のピークとされる2025年には、全国で最大20万床の削減が計画されています。

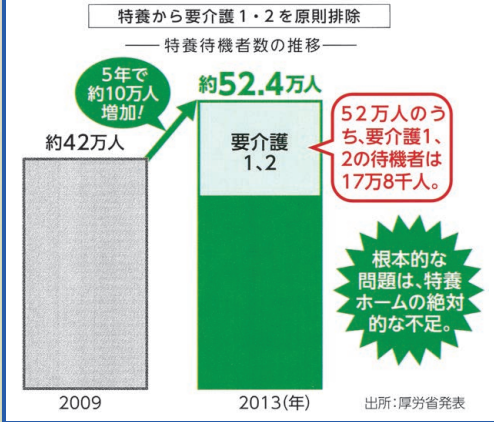
**長野でも 2,800床の削減!**  
長野県第1回地域医療構想策定委員会資料より

長野県でも地域医療構想策定委員会が設置され、病床削減も含めた構想協議されています。その中で「現状を壊してまで削減するのはおかしい」など批判の声もでています。

### 「入院から在宅へ」「医療から介護へ」



### 特養に入れない!



### 入院時の居住費自己負担 (2017年の通常国会に法案提出!?)

現在、一部に限定されている入院の居住費(水光熱費)負担が、ほとんどの患者に拡大!?

2015年度まで(1日3食)	食費(食料費) 780円	2倍以上!
2018年より	食費(食料費・調理費) 1,380円	
2019年以降?	食費(食料費・調理費) 1,380円	
	居住費 320円	
合計		1,700円

「全国保険医新聞」2016年3月号外より

5,000円の医療費がかかった時

現行制度	仮に500円上乘せなら
窓口負担 1,500円	窓口負担 1,500円
保険給付 3,500円	保険給付 3,000円
	+500円

「全国保険医新聞」2016年3月号外より

### 受診時定額負担の導入 (2017年の通常国会に法案提出!?)

「かかりつけ医」以外を受診すると、通常の窓口負担に加え、定額負担(100円~500円)を徴収することを検討。  
※これにより、実質3割以上の負担に...

75歳以上の窓口負担を2倍に(2019年度から実施!?)

### 介護現場はもう限界!

